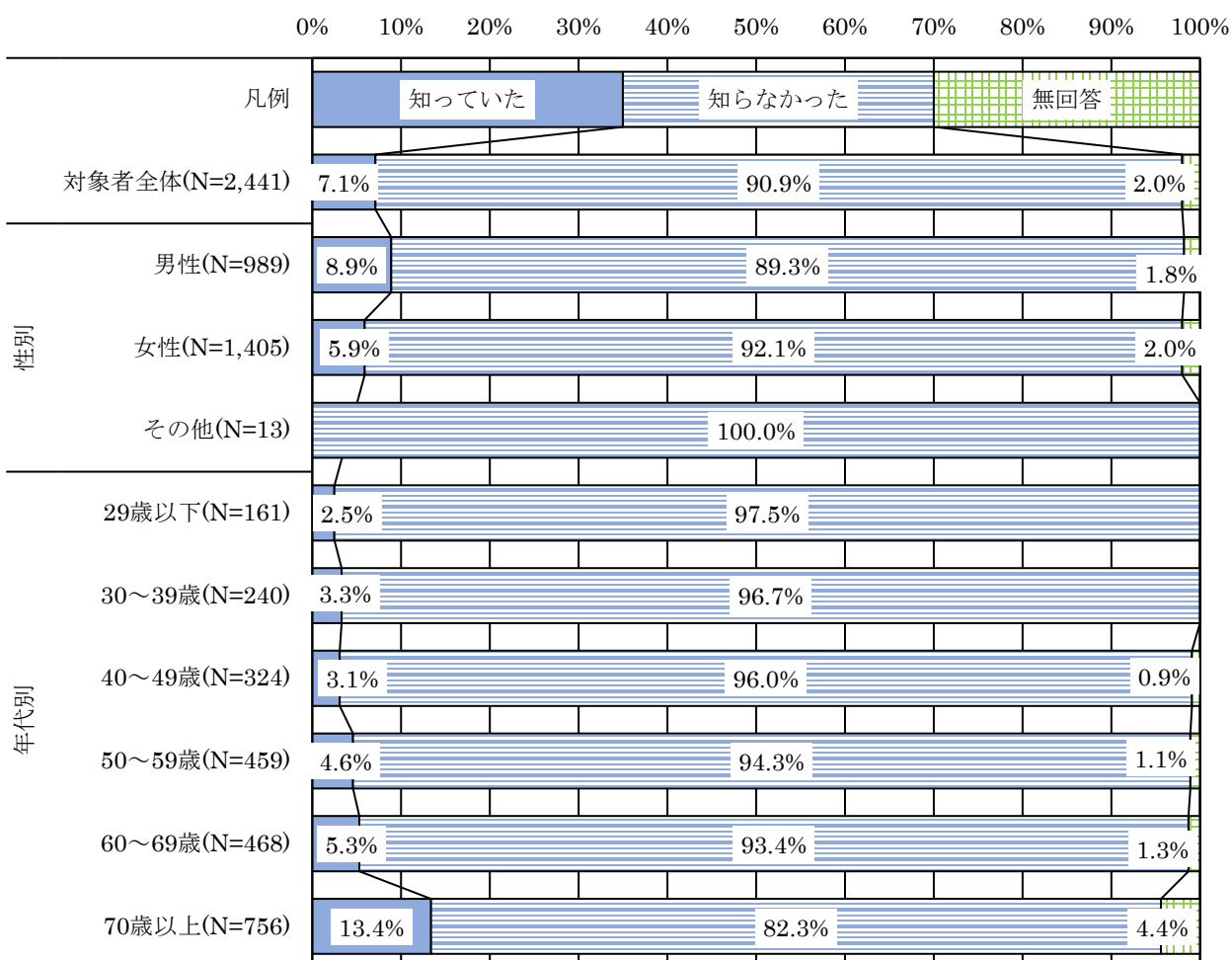
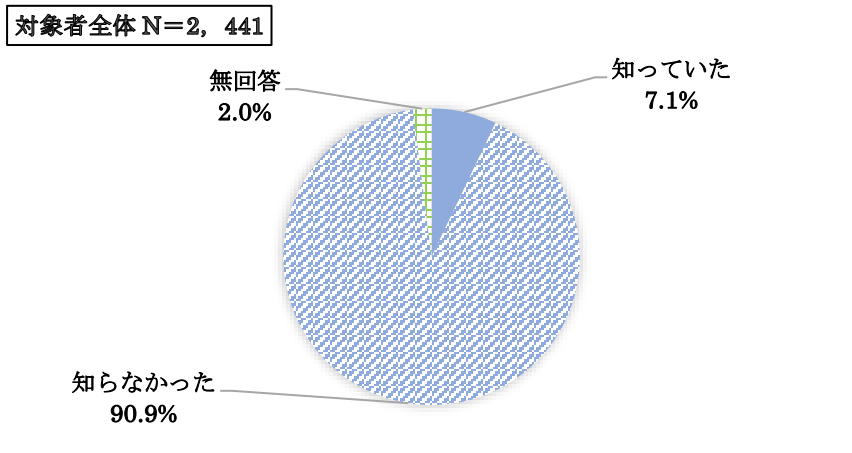


(2)札幌市が実施する自動消火装置助成事業について

◇自動消火装置設置費助成制度の認知

問9 あなたは、65歳以上の高齢者のみで構成される世帯に対し、自動消火装置の購入・設置に要する費用を助成する制度があることを知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自動消火装置助成事業の認知は、「知らなかった」が90.9%



【全 体】自動消火装置助成事業の認知は、「知らなかった」が90.9%、「知っていた」が7.1%となっている。

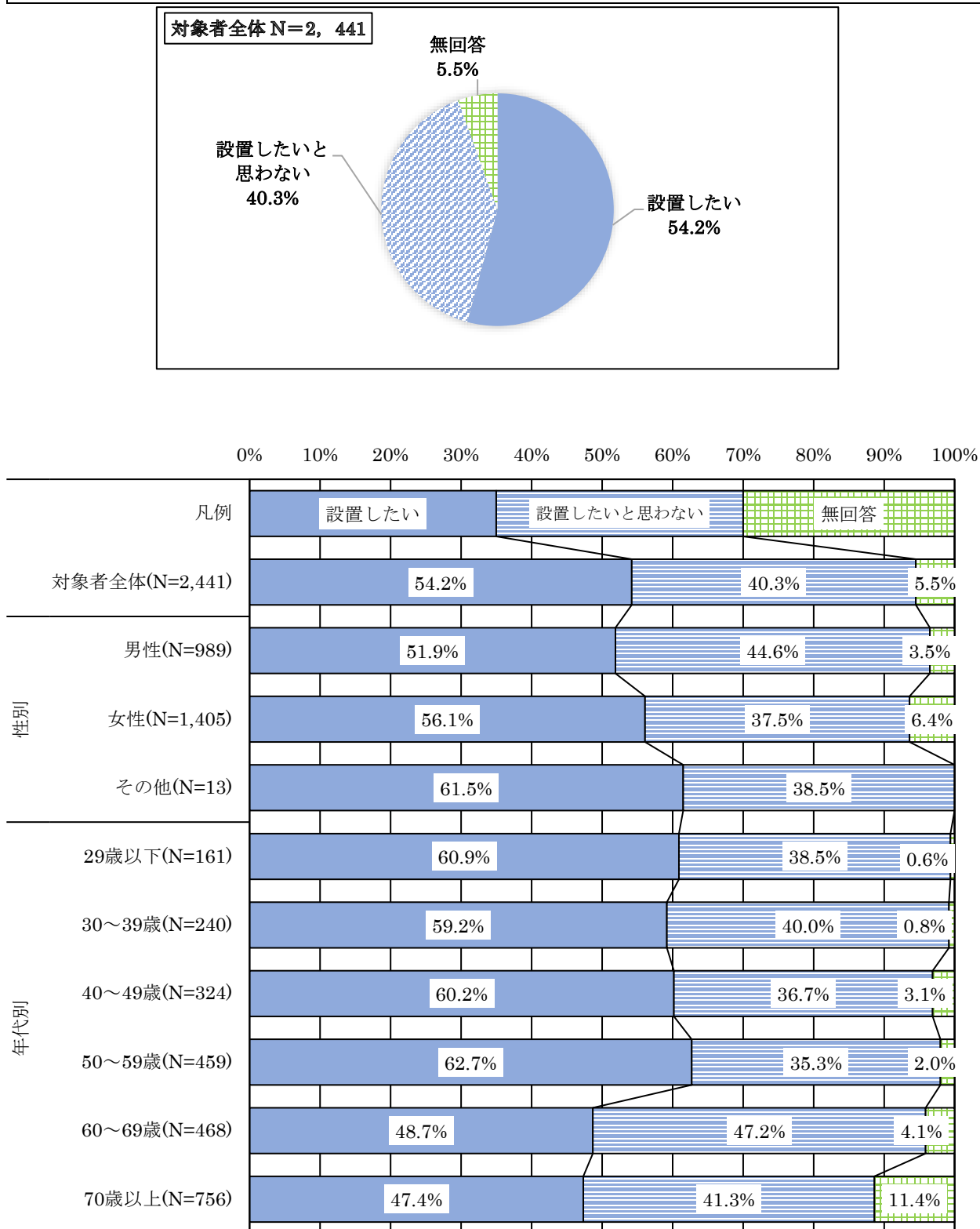
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知らなかった」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇助成制度を利用した自動消火装置の設置希望

問 10 あなたは、高齢者世帯自動消火装置設置費助成制度（自己負担額：1台あたり約1万円から3万円）を利用して、自動消火装置をご自宅に設置したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。
 なお、現時点で助成の対象外であっても、利用できると仮定してお答えください。

助成制度を利用した自動消火装置の設置希望は、「設置したい」が54.2%



【全 体】助成制度を利用した自動消火装置の設置希望は、「設置したい」が54.2%、「設置したいと思わない」が40.3%となっている。

【性 別】「設置したいと思わない」は、男性が44.6%と、女性の37.5%より7.1ポイント高くなっている。

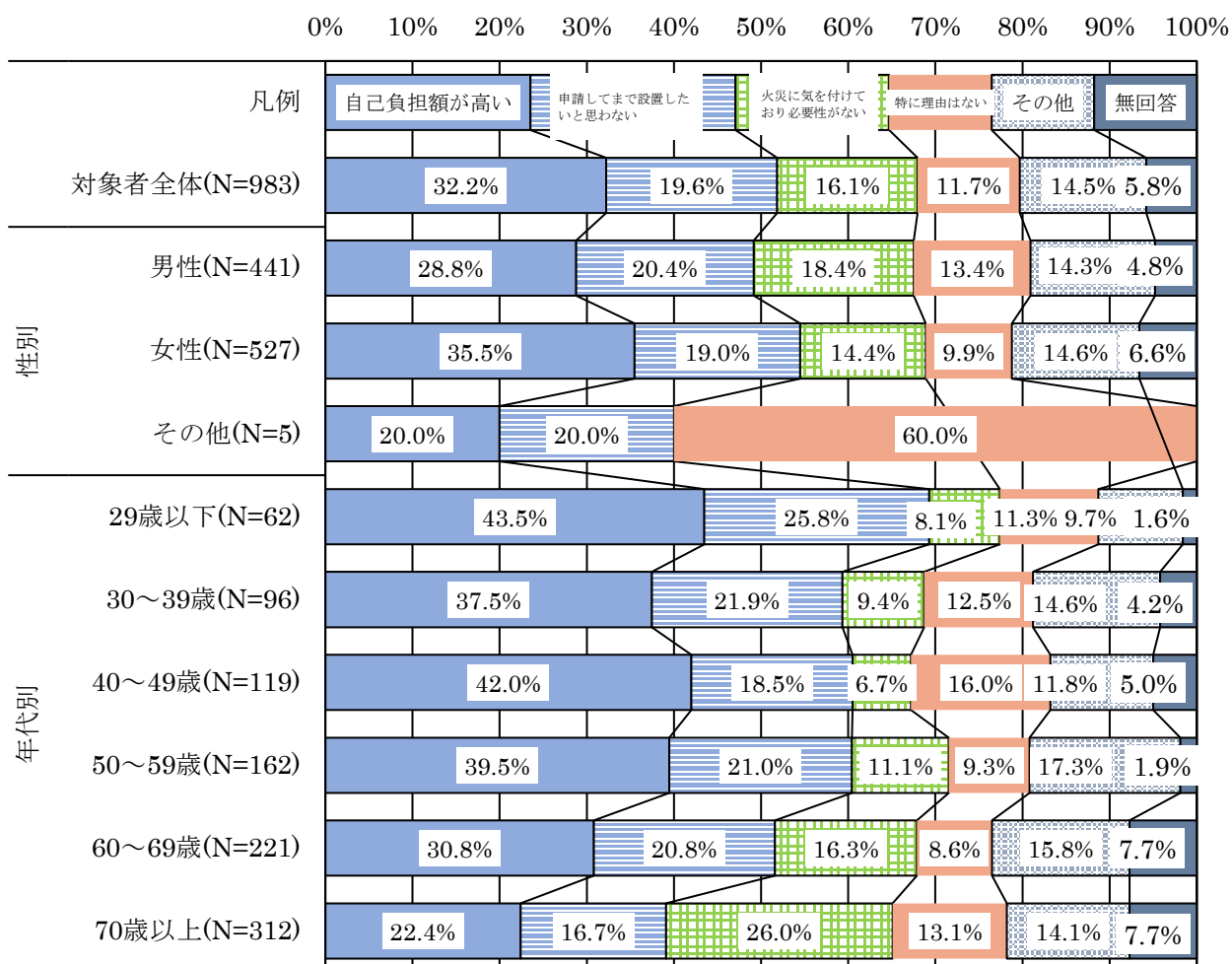
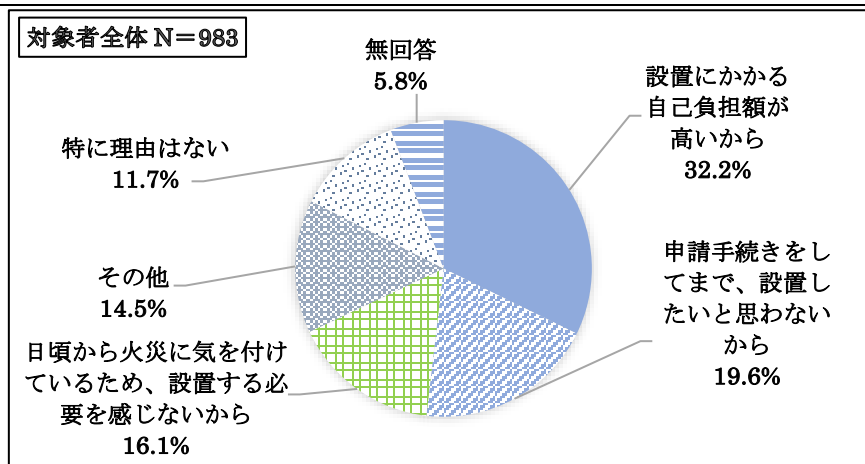
【年代別】「設置したい」が29歳以下で60.9%と最も高くなっている

◇自動消火装置を設置しない理由

《問10で「2 設置したいと思わない」と答えた方にお聞きします。》

問10-1 あなたが、「2 設置したいと思わない」と思う理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自動消火装置を設置しない理由は、「設置にかかる自己負担額が高いから」が32.2%



【全 体】自動消火装置を設置しない理由は、「設置にかかる自己負担額が高いから」が32.2%、「申請手続きをしてまで、設置したいと思わないから」が19.6%、「日頃から火災に気を付けているため、設置する必要性を感じないから」が16.1%となっている。

【性 別】「設置に係る自己負担額が高いから」は、女性35.5%、男性28.8%と6.7ポイント高くなっている。

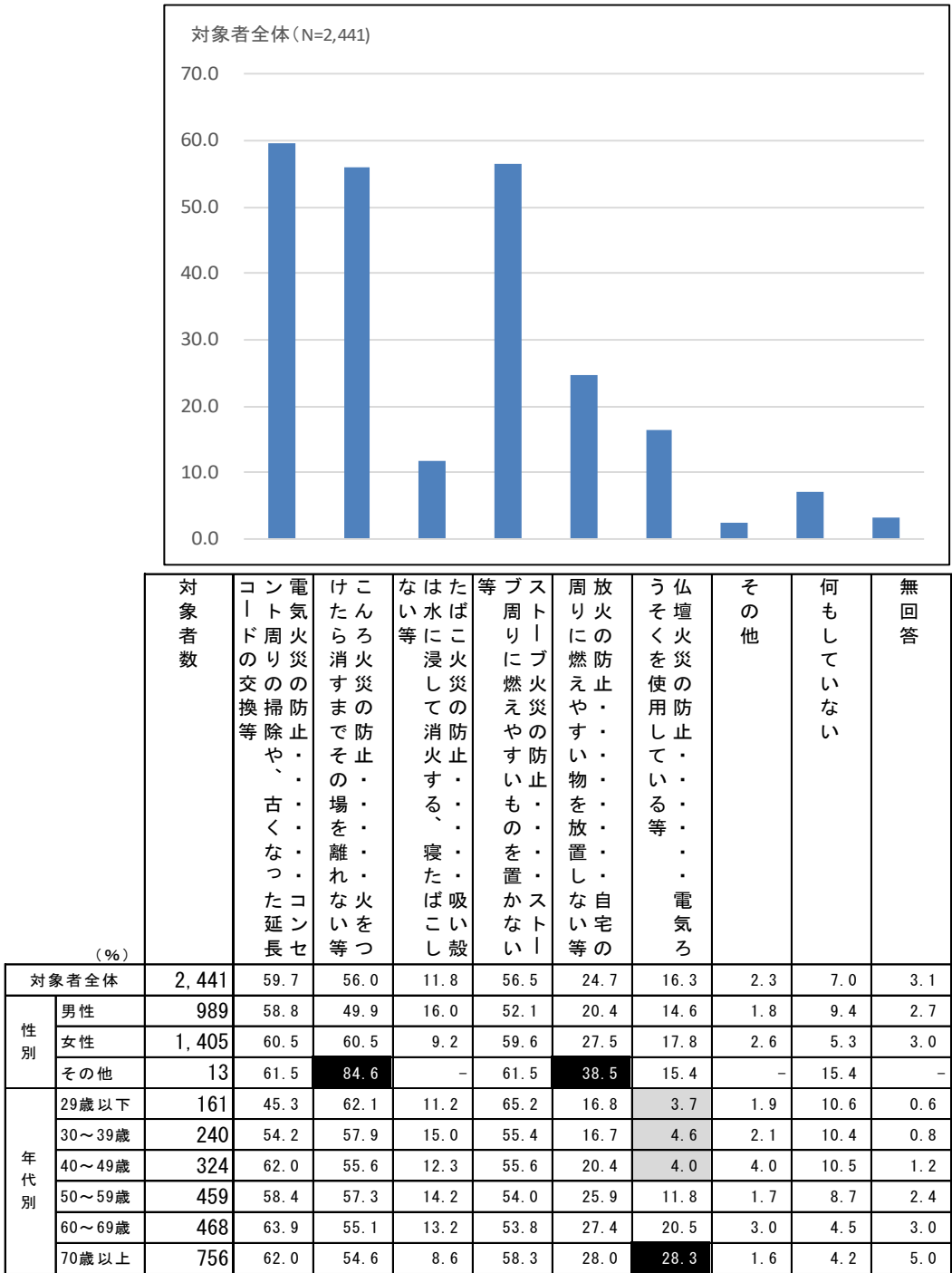
【年代別】「設置に係る自己負担額が高いから」が、70歳以上以外の年代において最も高くなっている。

◇住宅火災防止の取組

「皆さまにお聞きします。」

問 11 火災は意図せず発生します。そこであなたが普段、住宅火災を防ぐために力をいれていることを教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

住宅火災の防止取組は、「電気火災の防止」が59.7%



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】「住宅火災の防止取組は、電気火災の防止」が59.7%、「ストーブ火災の防止」が56.5%「こんろ火災の防止」が56.0%となっている。

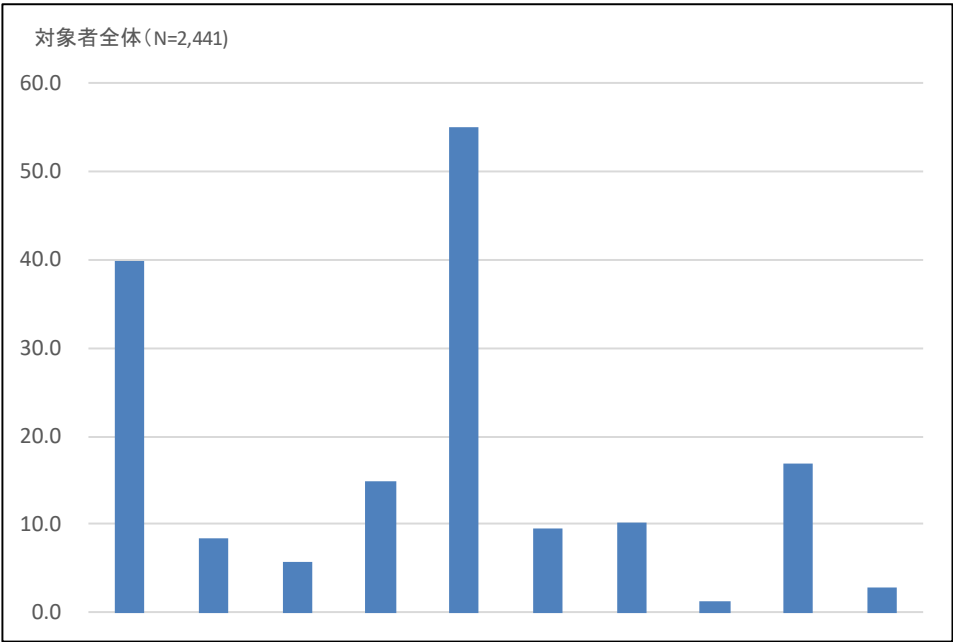
【性別】「こんろ火災の防止」「ストーブ火災の防止」「放火の防止」は女性が男性よりも7.1ポイント以上高くなっている。一方で、「たばこの火災の防止」は男性が女性より6.8ポイント高くなっている。

【年代別】「電気火災の防止」において、60歳代の割合が最も高くなっている。

◇火災に備えた物品

問12 あなたは火災の備えとしてご自宅にどのような物品を用意していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

火災に備えた物品は、「住宅用火災警報器」が55.0%



		対象者数	消火器・器具	消火スプレー型 の消火器	自動消火装置 の熱を感知して自動で消火薬剤を放射する装置	防炎製品・絨毯、毛布などにのうち、火がつかれた製品	住宅用火災警報器・音等で知らせる火災警報器	感震ブレーカー・自動で電気を遮断して地震の揺れを感知し、	過電防止機能付き電源タップ	その他	何も用意していない	無回答
		(%)	一般	スプレー型	火災	火災	火災	地震	過電			
対象者全体		2,441	40.0	8.5	5.8	15.0	55.0	9.5	10.1	1.3	17.0	2.9
性別	男性	989	43.0	8.2	5.6	12.5	53.9	9.6	12.7	0.9	17.3	2.0
	女性	1,405	37.7	8.9	5.8	16.9	56.4	9.3	8.3	1.6	16.7	3.2
	その他	13	38.5	7.7	7.7	15.4	30.8	-	15.4	-	30.8	-
年代別	29歳以下	161	30.4	5.6	6.2	13.7	51.6	7.5	11.2	0.6	26.7	1.2
	30～39歳	240	24.6	6.3	8.3	13.3	57.1	9.6	14.6	0.8	21.3	0.4
	40～49歳	324	35.5	6.8	4.0	16.0	54.3	9.0	14.5	2.2	19.4	1.2
	50～59歳	459	41.0	11.8	5.2	15.5	56.6	6.8	11.5	0.2	16.3	1.7
	60～69歳	468	42.3	9.8	6.2	16.0	57.5	8.8	7.5	2.1	15.2	1.7
	70歳以上	756	46.2	8.1	5.6	14.4	53.4	11.5	7.4	1.5	14.2	5.7

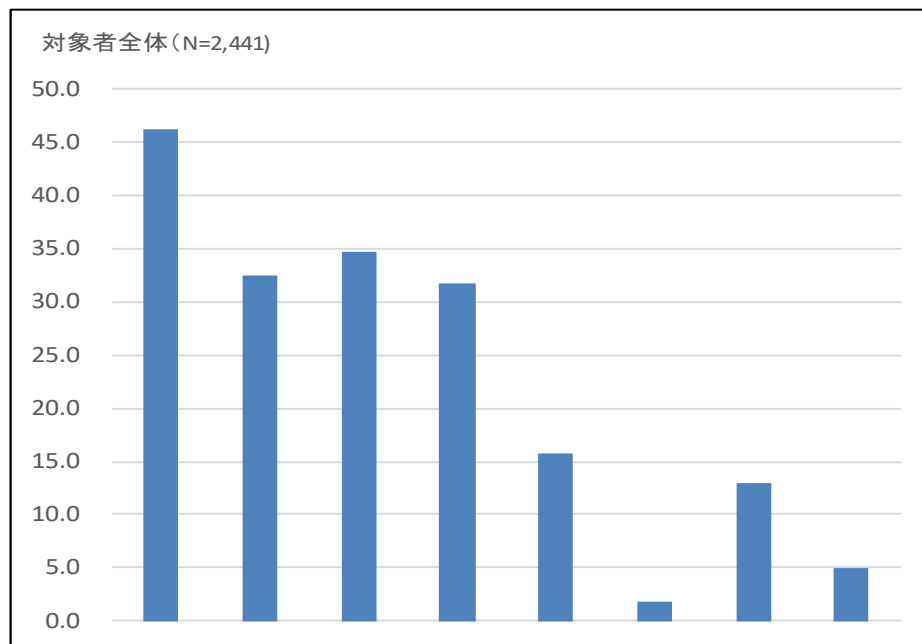
対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】火災に備えた物品は、「住宅用火災警報器」が55.0%、「消火器」が40.0%、「何も用意していない」が17.0%となっている。
【性 別】男女で大きな差は見られない。
【年代別】「住宅用火災警報器」は、60 歳代(57.5%)で最も高くなっている。

◇推進してほしい火災予防啓発事業

問13 札幌市消防局では、下記に示す各種の火災予防啓発事業を推進していますが、今後、あなたが、重点的に推進してほしい事業は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

推進してほしい火災予防啓発事業は、「高齢者世帯自動消火装置設置費助成事業」が46.3%



		対象者数	高齢者世帯自動消火装置設置費助成事業	高齢者やその家族、関係者などに対する火災予防知識の向上に関する事業	住宅用火災警報器の設置・維持管理の推進に関する広報活動	子どもに対する防火・防災教育に関する事業	市内各種施設を利用する市民・観光客の安全確保に関する事業	その他	特に重点的に推進してほしい事業はない	無回答
		(%)								
対象者全体		2,441	46.3	32.5	34.7	31.8	15.7	1.8	13.0	5.0
性別	男性	989	44.1	30.1	34.9	30.0	13.4	1.8	14.6	3.8
	女性	1,405	48.2	34.5	35.0	33.2	17.4	1.7	12.0	5.2
	その他	13	38.5	23.1	30.8	23.1	7.7	7.7	23.1	-
年代別	29歳以下	161	35.4	29.8	34.2	50.3	26.7	1.2	14.9	1.2
	30～39歳	240	28.8	29.6	36.7	55.8	20.0	2.1	13.8	0.4
	40～49歳	324	40.4	28.7	32.4	47.5	13.9	3.1	11.1	2.2
	50～59歳	459	49.9	37.9	37.0	32.0	17.2	3.1	13.1	2.2
	60～69歳	468	54.1	32.3	36.3	27.1	17.5	1.5	14.5	2.4
	70歳以上	756	50.4	32.9	33.5	16.3	10.8	0.7	12.2	10.6

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】推進してほしい火災予防啓発事業については、「高齢者世帯自動消火装置設置費助成事業」が46.3%、「住宅用火災警報器の設置・維持管理の推進に関する広報活動」が34.7%、「高齢者やその家族、関係者などに対する火災予防知識の向上に関する事業」が32.5%になっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「子どもに対する防火・防災教育に関する事業」が、30歳代(55.8%)と最も高くなっている。